

子ども健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)
論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル: Maternal triglyceride levels and neonatal outcomes: the Japan Environment and Children's Study

和文タイトル: 妊婦の血清トリグリセリド値と新生児予後

ユニットセンター(UC)等名: 福島ユニットセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Journal of Clinical Lipidology

年: 2023

DOI: 10.1016/j.jacl.2023.04.005.

筆頭著者名: 郷 勇人

所属 UC 名: 福島ユニットセンター

目的:

本研究では、妊婦の血清トリグリセリド値が出生児の予後にあたる影響について検討することを目的とした。

方法:

妊婦と新生児の 73,129 組を対象とした。妊娠第 2 期と第 3 期における妊婦のトリグリセリド値により各々 3 群に分け、多変量解析を用いて、妊婦の血清トリグリセリド値が早産、低出生体重児、small for gestational age (在胎週数相当の体格よりかなり小さく生まれた状態)、large for gestational age (在胎週数相当の体格よりかなり大きく生まれた状態) に与える影響について検討した。

結果:

妊娠第 2 期と第 3 期のいずれにおいても、トリグリセリド値が中間の群に比較して、トリグリセリド値が低い妊婦では、small for gestational age のリスクが上がり、一方でトリグリセリド値が高い妊婦では large for gestational age のリスクが上がることを示された。

考察(研究の限界を含める):

母体の栄養が胎児の成長に関わっていることが知られており、本研究でも、栄養の指標の一つであるトリグリセリド値が胎児の発育に関与していることが考えられた。研究の限界として、トリグリセリド値が新生児の予後に関わるメカニズムについての詳細な検討をしていないことにある。

結論:

妊娠第 2 期と第 3 期の低いトリグリセリド値の妊婦では、small for gestational age のリスクが上がり、一方で高いトリグリセリド値の妊婦では large for gestational age のリスクが上がることを示唆された。